

会議等状況報告書

会議等の名称	小川にかかる橋梁に関する意見交換会	
日時	令和4年5月28日（土）午前10時00分～午後0時05分	
場所	岩崎台・香久山福祉会館 1階多目的ホール	
出席者	香久山地区住民	36名
	日進市 都市整備部区画整理課	近藤市長、水野副市長、蟹江部長、 上川原課長、石原課長補佐、水谷係長、榊原主事

会議状況要旨

市

- （司会挨拶）
- （市長挨拶）
- （出席者紹介）
- （本日の説明会の流れについての説明）
- （少人数による意見交換会の開催報告）

【少人数による意見交換会の開催報告への補足】

市民自治の回復を求める市民協議会

条例やまちづくりの理念という原則的なところから考えていくことが大事だ。

市が昨年実施した道路交通調査によって計測された香久山地区内の交通量を分析すれば、その内どれだけが通過交通なのかが分かるはずである。

資料5にある「Ⅲ. 市による検討約束案件」への市の答えはまだ心構えのような段階なので、意見交換を通じてより具体的にして欲しい。

市から梅森の方に我々の気持ちを伝えて欲しい。

株山環状線へ通過交通を入れないように対策していくと市長の口から聞いたのは心強い。

香久山ナンキンハゼの会

香久山の開発当時の基本的な道路計画から言うと、株山環状線は香久山の住民が株山中央通線に出るための道路であり、この位置づけは今日も変わっていない。また、市は香久山開発の事業計画に責任を負っている。

既存の人道橋は小学生の通学に十分であり、新しい橋をかけるのは税金の無駄遣いである。

車も通る12m道路を通学路にする方が危険だ。

橋をかけると香久山南交差点も浄化センター北側の道路も交通量が増えると道路交通調査では推計されており、これにより橋をかけることが香久山南交差点の渋滞対策になるという主張は覆されている。

12m道路と株山環状線を橋によって繋げると、日生梅森園内の道路が通り抜け

道路となる。この点が道路交通調査において考慮されていないのは問題である。

【意見交換】

住民

市が昨年実施した道路交通調査によって計測された香久山地区内の交通量を私が解析した結果、その内どれだけが通過交通なのかが分かった。香久山地区全体にどれだけの通過交通が入り込んでいるかをまず把握する必要があるため、昨年は調査対象外であった香久山地区の東部分についても市に交通量調査を行ってほしい。そして、その結果を私が解析してデータを示したい。

市

新しい調査をすぐに実施することは難しいが、実施済みの交通調査結果の解析は進め、具体的なデータは提示できるようにしていきたい。

住民

資料6の7ページの No.4の質問への回答としてある「幹線道路との出入口は一か所だけではなく、複数設けることが重要と考えています。」ということの合理的な理由と法的根拠は何か。

市

都市計画上の基本的な考えである。ただし、法的な定めはない。

住民

株山環状線と株山中央通線のように、12m道路も環状線化して白山黒石線だけに接続すれば良い。

市

住民同士の交流のためにも、12m道路を白山黒石線だけではなく株山環状線にも接続させることが必要と考えている。

住民

反対ではない人の意見も聞きたいと思って意見交換会に来ている。反対ではない意見も紹介して欲しい。

市

賛成意見をお持ちの方は市役所の窓口にはお越しになっているが、意見交換会の場では賛成意見は言いづらいため参加は見送りたいとのご意見を頂いている。

住民

賛成と反対のグループで分けて意見調整するということがか。

市

現在、賛成意見をお持ちの方のグループは存在していない。

住民

災害時に住民が橋を利用してどこへ避難すると想定しているのか。

市

日進市防災対策マップ上では、橋がある場合には香久山西部地区の最寄りの拠点避難所は香久山小学校となっている。

住民

緊急車両はどれくらいの規模の車両の通行を想定しているか。

市

12m道路の整備基準に即した橋の設計をする予定であり、どこまでの規模の車両が通れるかは現時点では分からない。

住民

災害時に、車に乗って香久山小学校へ避難するよう指示を出すのか。

市

避難指示は状況に応じた内容で出されるものだが、大規模災害時には車での移動は難しいと考えている。

住民

資料6の9ページのNo.9の意見への回答として「橋梁建設と並行して、野方三ツ池公園線の早期整備を進めていきます」とあるが、野方三ツ池公園線の整備完了はいつを目標としているのか。

市

10年以内を目標としているが、地権者の方との話し合いがあるため必ず実現できるというものではない。

住民

野方三ツ池公園線を計画してから数年経っているが、市は計画をただけで何もやってこなかったのか。

市

用地購入を進めてきた。

住民

3月19日の意見交換会で、住民の意見がこのままの状態では橋の設計費は計上しないと市長が言ったがどうか。

市

予算を勝手に執行することはせず、皆様へのご説明のうえで執行していきたいと申し上げた。意見交換を継続し、具体的な解決の方向の共有を図ったうえで予算の執行を行う。

住民

以前の説明会で説明された、令和3年度交通量調査、令和4年度橋梁予備設計・橋梁詳細設計、令和5年度橋梁下部工、令和6年度橋梁上部工完成・供用開始というスケジュールに変更はないか。

市

現時点では変更はない。

住民

3月の市議会の中で、橋を早急に架けて欲しいという請願がすでに議会で採択されているため設計費を計上していると市は答弁している。その一方、3月19日の意見交換会で、住民との合意が無ければ橋梁関係の予算は執行しないと市長は明言している。そのように同時期に誤解を生むような発言がされていることが不思議だ。

市

3月の市議会においても、住民の方との話し合いを継続していくと答弁しており、3月19日の意見交換会における発言との矛盾は無いと考えている。

住民

6月の市議会の中で、橋に関係した答弁の予定はあるか。

市

橋に関係した質問は出ている。

住民

市長は話し合いの合意がなければ予算は執行しないと行ったが、もしも圧倒的多数で採択された請願と、この話し合いの中で今後色々な検討をして計画がズレてきたとき、その請願と違う内容の計画に変更するような覚悟はあるのか。

市

住民の皆様との話し合いを続けていくが、橋の建設は計画通りに進めていく必要があり、どこかの段階で事業を前へ進めていきたい。交通調査や交通対策の検討は設計と並行してでも可能であり、また、交通状況を完全に把握せずとも計画は進められると考えている。

住民

野方三ツ池公園線の整備について、次回の意見交換会で整備予定のロードマップを示して欲しい。

市

ロードマップはあるが、地権者の方との話し合いがあるため意見交換会のような場でお示しできるものではない。ただし、現在の渋滞状況は理解しているため、早急に整備できるよう努力する。

住民

香久山北交差点を押しボタン式にするという話だが、通勤通学の渋滞する時間帯に横断者も集中するため、押しボタン式にしたところで渋滞は緩和されないのではないか。また、香久山南交差点へ北から進入し右折して西へ向かう車両が渋滞していると思うが、この渋滞緩和のために右折時間を長くすると、今度は西から進入し左折して北へ向かう車が渋滞してしまう。このように渋滞が発生してしまうと橋ができたときに通過交通が防ぎきれないと思うため、信号の見直しの他に渋滞対策を考えて欲しい。

市

押しボタン式への変更については香久山区と岩崎台区からの要望を受けて警察と協議中である。同時に、香久山北交差点及び香久山南交差点の右折帯の延長といった対策も検討を進めている。

住民

香久山西部土地区画整理組合にも積極的に通り抜け対策を考えてもらえるよう、市から勧めてほしい。

市

香久山西部土地区画整理組合としても安全対策を施しながら住みやすい街を造っていきたいと考えており、どういった対策が可能か検討中である。

【意見】

2つの地区を1つにする必要はなく、2つの地区が別々に繁栄すれば良い。

意見交換会に複数回参加しているが、いつも交通調査への批判と香久山開発の理念の話ばかりの印象だ。

香久山地区全体の意見を聞くという意味で、賛成意見を持つ方のグループとの意見交換もやるべきだ。

今日の意見交換会では話し合いが後退していると感じる。

自動車の道路はもう不要であり、歩行者・自転車優先の道路でよい。車優先で考えるのはもうやめて欲しい。

以上